

総合工学委員会・機械工学委員会合同  
工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会  
変化する技術・社会における工学システムの安全とリスク検討小委員会  
(第26期・第2回) 議事要旨

1. 日時 令和6年6月6日(木) 10:00~12:00

2. 会場 オンライン開催 (Zoom)

3. 出席委員 (敬称略)

浅間 一、柴山 悦哉 (副委員長)、西田 佳史、野口 和彦 (委員長)、藤井 健吉 (幹事)、平尾 雅彦、水野 毅、宮崎 久美子、澁谷 忠弘、田村 兼吉、松岡 猛、松尾 亜紀子 (オブザーバー)

欠席委員 (敬称略): 須田 義大、辻 佳子、持丸 正明、中村 昌允、永井 正夫

4. 配布資料

資料1 第1回小委員会議事要旨

資料2 松岡先生話題提供資料「佐治悦郎 安全目標は理念を語れ (原子力学会誌 202406)」

5. 議事次第

(1) 第1回小委員会議事要旨の確認

(2) 安全工学シンポジウム 2024 PD-3 準備に関する議論

PD-3「変化する技術・社会に対応する安全とリスクを考える II - 安全とリスクの捉え方の変容、安全活動に必要な技術・社会の仕組み-」

- コーディネーター 野口和彦 「PD-3の主旨、目的」
- パネリスト 柴山悦哉 「情報技術の安全とリスク」
- パネリスト 持丸正明 「人と生活視点での安全とリスク」
- パネリスト 藤井健吉 「日本のよきモノづくりの考え方とグローバルな変化 - 安全とリスクを制御するための社会システムの変遷」

(3) 安全目標に関する話題提供 (松岡、野口)

・「安全目標は理念を語れ（佐治悦郎氏 2024 原子力学会誌）」で、性能目標を追加設定するのであれば、その上位にあるべき安全目標はなんであるかを明確にすることが重要。

(4) 小委員会活動に関する議論

社会・技術変化がもたらす安全の変化として、以下の点を議論していく。

■安全の捉え方について

- ・ 許容できないリスクがもたらす安全問題
- ・ 許容できるリスクがもたらす安全問題
- ・ 検討すべきリスクやリスク基準がわからないリスクがもたらす安全問題

■安全検討の視点

- ・ 工学システムに影響をもたらす社会・技術の変化とは？
- ・ 安全な社会・事業のために安全をどのように捉えるか？
- ・ 今の安全に関する制度・活動・技術の課題は何か？

(5) 次回の小委員会開催について

6月下旬の安全工学シンポジウム PD-3 の準備のため、幹事会を6月中に開催。  
安全工学シンポジウム終了後に第3回小委員会を開催。

以上